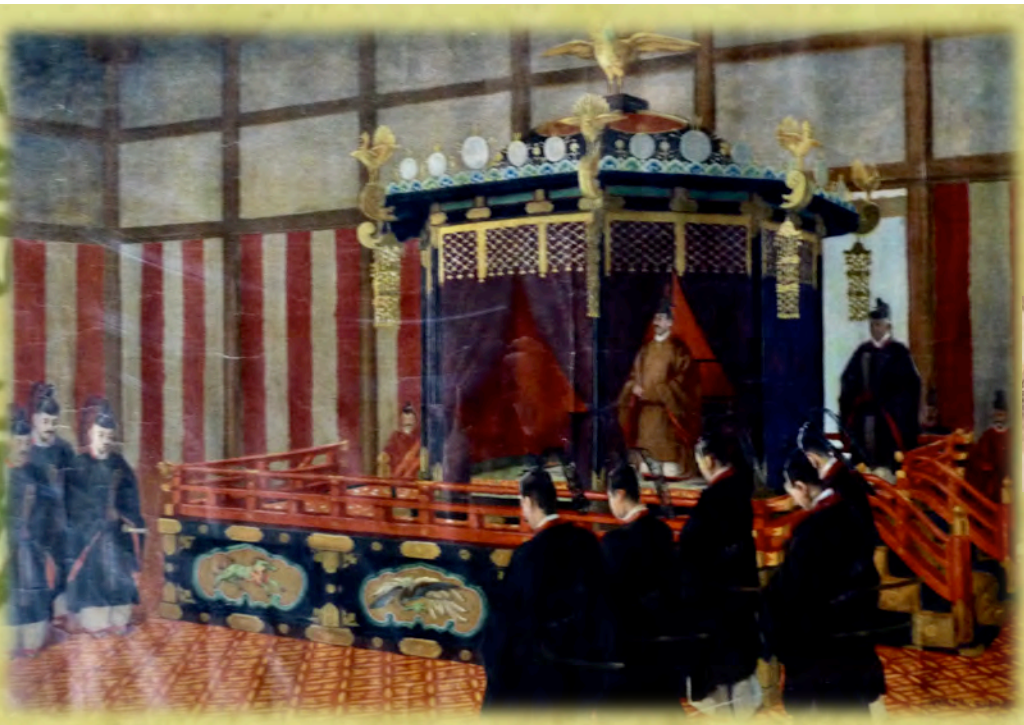
NPO法人 うちのの館

藤岡家住宅
平成31年
4月・5月・
6月の展示



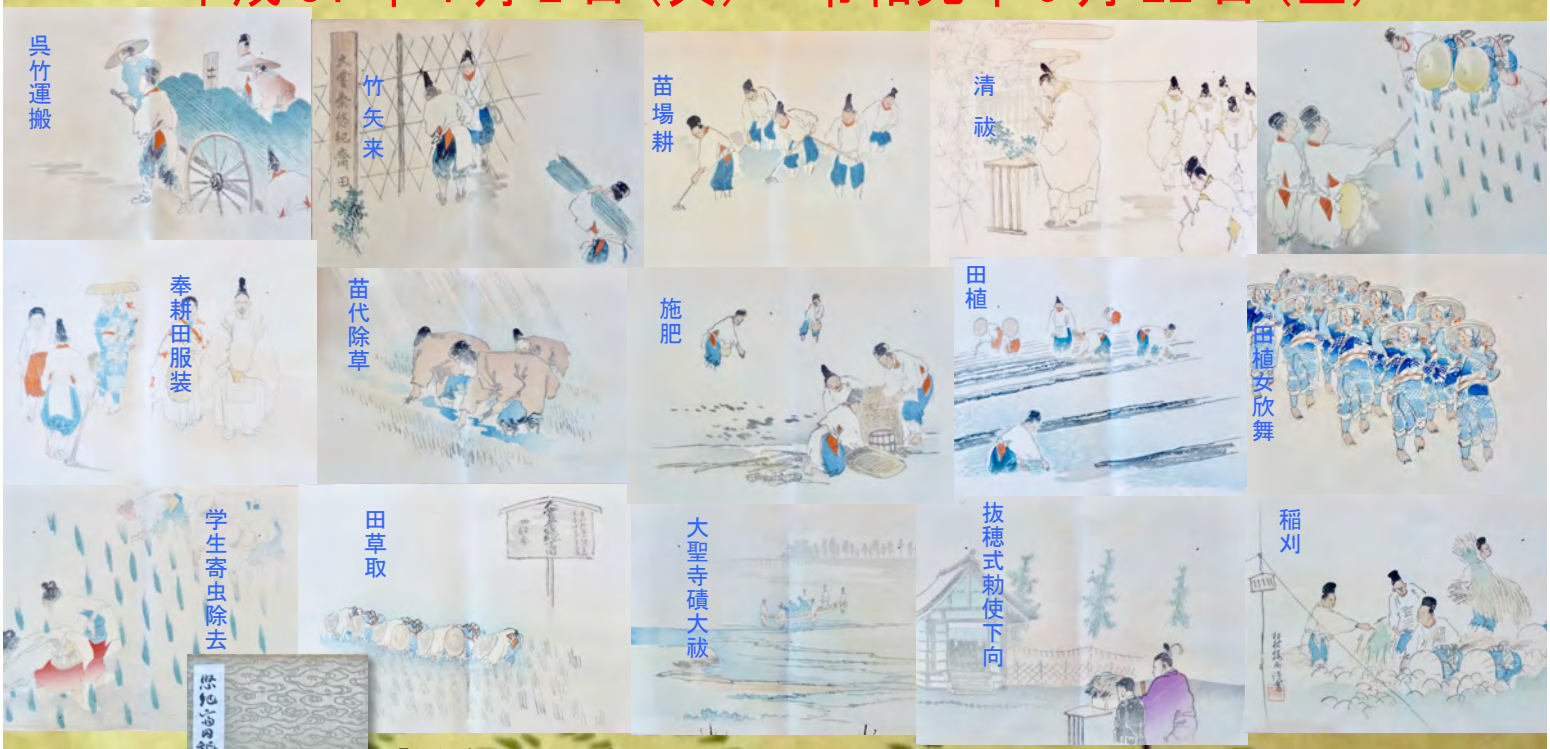
大正天皇御即位時の高御座
大正4年11月1日
大阪朝日新聞
第1万2千128号
付録

藤岡長和氏は大学を卒業後内務官僚として愛知県に赴任。斎田に関する委員を務めた。（大正4年・27歳～28歳）

大正天皇御即位時の
だいじょうさいゆきさいでん

「大嘗祭悠紀斎田記録」展

平成31年4月2日（火）～令和元年6月22日（土）



『悠紀斎田記念画帳』
松村櫻雨　画
大正4年11月10日
岡田太郎次郎　発行

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人NPO法人うちのの館（やかた）
〒637-0016 奈良県五條市近内町526 電話とファックス 0747（22）4013
info@uchinono-yakata.com
http://www.uchinono-yakata.com/

登録有形文化財「藤岡家住宅」４月・５月・６月の展示

「大正天皇御即位時の大嘗祭悠紀斎田記録」展

（だいじょうさいゆきさいでん）

平成 31 年 4 月 2 日（火）～　令和元年 6 月 22 日（土）

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人・NPO 法人うちのの館（やかた）
〒637-0016　奈良県五條市近内町 526 番地
☎&fax 0747(22)4013　info@uchinono-yakata.com
http://www.uchinono-yakata.com /

9 時～16 時　月曜休館（月曜が祝日のときは開館して翌日休館）

天皇の即位の礼の後に行われる大嘗祭において、儀式に用いる新米を収穫するための田が、悠紀(ゆき)斎田と主基（すき）斎田です。斎田は東日本から 1 箇所、西日本から 1 箇所選ばれることになっており、京都を境に機内 59 国（山城国・大和国・河内国・和泉国・摂津国）以外の国から選ばれます。東日本の斎田を悠紀斎田、西日本の斎田を主基斎田と呼びます。

藤岡長和は大正 3 年（1914 年）7 月 10 日、東京帝国大学法科大学を卒業後、8 月 17 日に愛知県に赴任しましたが、ちょうどこのとき、愛知県から大正天皇御即位のための悠紀斎田が選出されることになり、いくつかの候補地の中から、愛知県碧海郡六ッ美村（現・愛知県岡崎市）にある耕作田が悠紀斎田と決まりました。

本年は、天皇のご退位とご即位の年。大正天皇のご即位時に、当時悠紀斎田の儀式の担当官であった藤岡長和氏が保管していた豊富な資料を展示します。当時の田植え歌や、地域の歌、長和氏が作った歌なども当時発行された書籍類に見ることができます。

愛知県岡崎市中島町の悠紀斎田では、大正天皇即位時の大嘗祭悠紀斎田の田植え祭りを起源とする「六ツ美悠紀斎田お田植まつり」が現在も（毎年 6 月第 1 日曜日）続けられています。

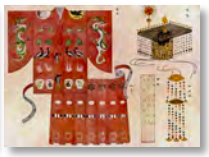
長和氏が、早世した娘、瑠璃子さんのために編んだ句文集『瑠璃』には、瑠璃子に向け、次のような文章が書かれていました。

—この年（大正 3 年）の夏 7 月、父は東京の帝大を卒業し 8 月愛知県属に任ぜられ、官吏としてこの見習生活を農務課で始めることとなり母うた代と共に東京から名古屋へ着いた。暑い夏であった。清駒本店に宿をとって連日貸家を見て歩き、飯田町の閑所（路地）の奥に隠居所風の 4 間の家を借りることにした。（略）（大正 4 年）3 月 1 日、瑠璃子宮詣。近内（現・奈良県五條市近内町）の産土御霊神社（現・近内御霊神社）に参詣の後、村内の人々の女の児などを招いて形ばかりの祝膳についた。翌日、瑠璃子は母と共に相谷（現・五條市相谷町）に行き、母方の祖母などに会ひ、4 日母に伴はれて名古屋へ帰つた。大正天皇御大礼には、愛知県は大嘗祭の悠紀の地方と定められたため、父は悠紀斎田の委員補助として大礼事務を分擔し、儀式の準備や記録の編纂などに忙しく、退庁は毎日夜に入ることが多かった。11 月、東区布池街の宇野林平氏の家に引越す。居宅に建てた 6 間の家にて閑静な住居であった。——『瑠璃』

明治天皇の大嘗祭	明治 4 年（1871 年）	悠紀斎田：山梨県巨摩郡上石田村（現・山梨県甲府市）	甲斐国
		主基斎田：花房県長狭郡北小町村（現・千葉県鴨川市）	安房国
大正天皇の大嘗祭	大正 4 年（1915 年）	悠紀斎田：愛知県碧海郡六ツ美村（現・愛知県岡崎市）	三河国
		主基斎田：香川県綾歌郡山田村（現・香川県綾川町）	讃岐国
昭和天皇の大嘗祭	昭和 3 年（1928 年）	悠紀斎田：滋賀県能州郡三上村（現・滋賀県能州市）	近江国
		主基斎田：福岡県早良郡脇山村（現・福岡県福岡市）	筑前国
今上天皇の大嘗祭	平成 2 年（1990 年）	悠紀斎田：秋田県南秋田郡五城目町	羽後国
		主基斎田：大分県玖珠郡玖珠町	豊後国

皇太子さまは 5 月 1 日に新天皇に即位されますが、その後、古式に従い亀卜によって斎田が定まり、11 月には大嘗祭の主要儀式が行われる予定です。農業の国で続けられてきた伝統の儀式は、どのように行われ、継承されてきたのかを伝える貴重な資料を公開します。

「皇太子殿下明仁親王」
（宮内省御貸下写真）昭和 9 年
「九州日報」第 15752 号付録



即位の礼の図
『即位礼大嘗祭の大典講和』より
文学博士関根正直著
大正 4 年東京宝文館発行

『悠紀齋田案内』
大正 4 年 6 月 1 日
悠紀斎田奉賛会発行

『悠紀齋田記録』
大正 5 年 3 月 25 日
愛知県発行

『大禮愛知県記念録』
大正 5 年 12 月 2 日
御大禮愛知県奉祝会発行

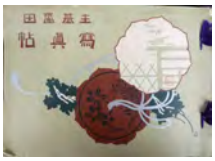
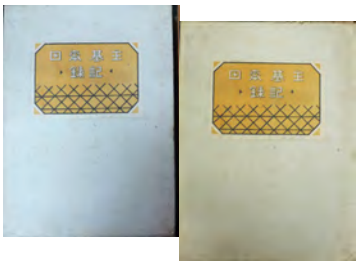
『悠紀齋田記念写真帳』
大正 4 年 9 月 20 日
愛知県発行

『新撰齋田読本』
大正 4 年 10 月 25 日
林忠太郎著

『悠紀国三河風俗』
大正 4 年 5 月 7 日
齋木鐵市著

『主基齋田記録』
大正 7 年 3 月 28 日
香川県発行

『齋田ト農業』
大正 4 年 9 月 20 日
愛知県内務部発行



『主基齋田記念写真帳』
大正 5 年 3 月 30 日
香川県内務部発行